

製品名: ビンキュリンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe02764

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.68mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100 |
| 分子量 | Calculated MW: 124 kDa; Observed MW: 124 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|-----------------------------|
| 遺伝子名 | VCL |
| 別名 | VCL; Vinculin; Metavinculin |
| 遺伝子 ID | 7414 |
| SwissProt ID | P18206 |
| 免疫原 | ヒトビンキュリンの組み換えタンパク質 |

背景

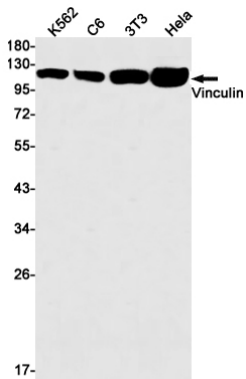
ビンキュリンは細胞骨格タンパク質であり、接着斑と胚発生の調節において重要な役割を果たします。ビンキュリンは 3つの構造ド

メインから成り、アミノ末端の頭部、短く柔軟なプロリンに富む領域、そしてカルボキシ末端の尾部から構成されています。不活性状態では、ビンキュリンの頭部と尾部は相互作用して閉じた構造を形成します。活性状態のビンキュリンは接着斑へ移行し、F-アクチンを膜に固定し、細胞遊走を制御すると考えられています。

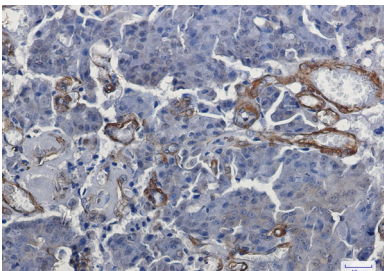
研究分野

シグナル伝達

画像データ



ビンキュリン抗体を使用した、K562、C6、3T3、Hela 溶解物中のビンキュリンのウェスタンブロット分析。



ビンキュリン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。